

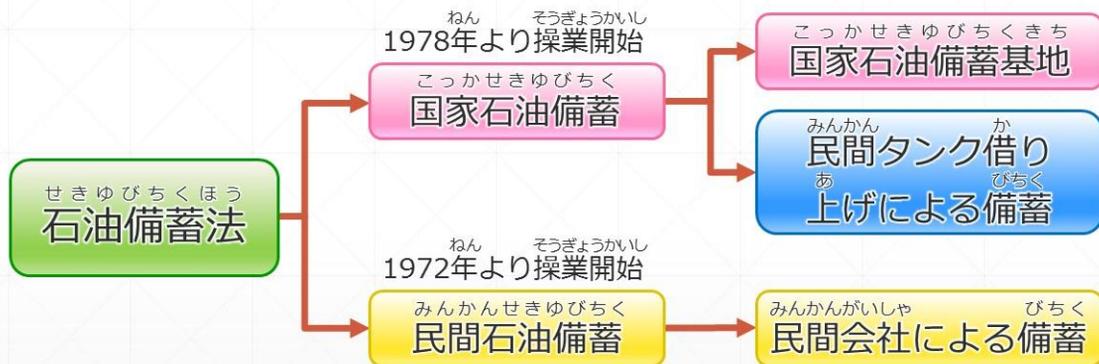


せつめい
ぼくが説明します！

せきゆびちくきち 石油備蓄基地について

石油備蓄基地について、僕が説明します！

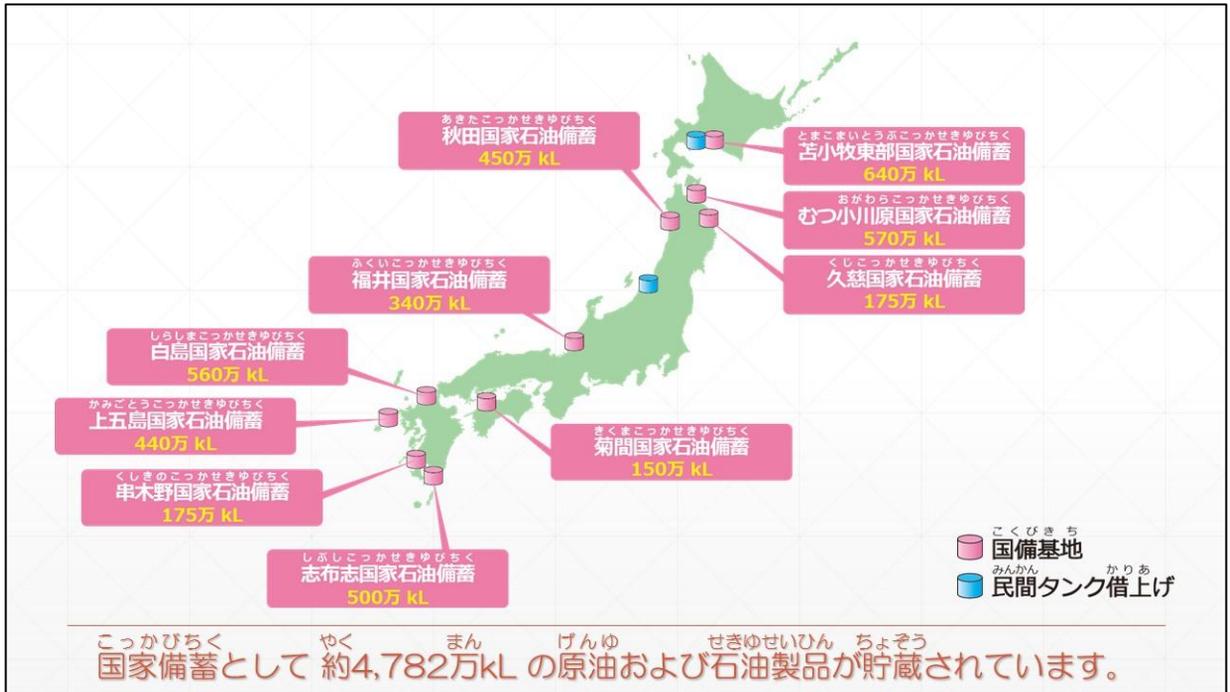
にほん せきゆびちくたいせい 日本の石油備蓄体制



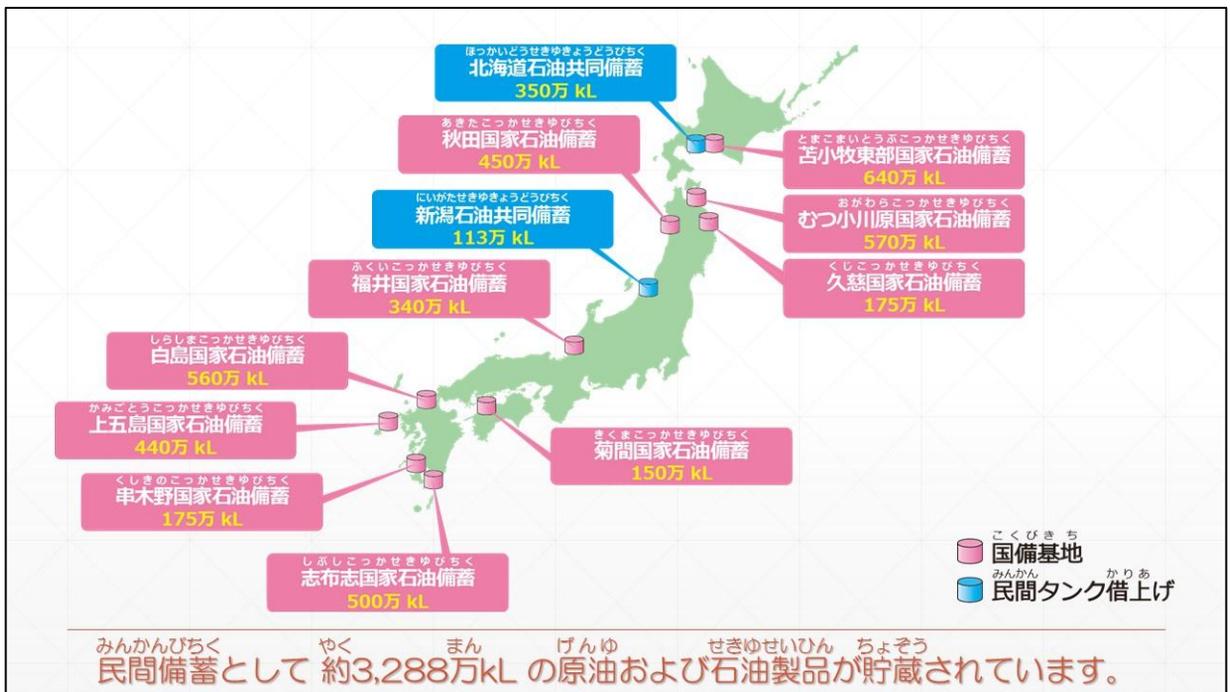
にほん せきゆ きょうきゅうふそく とき そな せきゆびちく じっし
日本では石油が供給不足になった時に備えて石油備蓄を実施しています。

日本では石油が供給不足になった時に備えて石油備蓄を実施しています。
それは国の直轄事業としての国家備蓄と、民間石油会社などが法律により義務付けられて実施している民間備蓄の2本立てで進められています。

5_石油備蓄基地について



国家備蓄は全国10カ所の国家石油備蓄基地と民間石油会社などから借り上げたタンクに約4,782万キロリットルの原油および石油製品が貯蔵されています。



民間備蓄は民間石油会社などにより約3,288万キロリットルの原油および石油製品が貯蔵されています。

5_石油備蓄基地について

もしものために
やく にちぶん げんゆ
約197日分の原油が
びちく
備蓄されています。



こうけいやく まん せきゆ にほん せきゆしょうひりょう やく にちぶん
合計約 8,070万kL の石油は、日本の石油消費量の約197日分です。

これらの合計約8,070万キロリットルの石油は、日本の石油消費量の約197日分となっています。

万が一、原油が日本に届かなくなった場合にも、しばらくは現在とほぼ同様の生活ができるように石油を蓄えています。

とまこまい にほんいち せきゆびちく まち
苫小牧は**日本一**の石油備蓄の街



とまこまいちく げんゆびちくりょう にほんいち きほ ほこ
苫小牧地区の原油備蓄量は日本一の規模を誇っています。

その中でも苫小牧地区の原油備蓄量は、日本一の規模を誇っています。